

株式会社北洋銀行 会社説明会資料

東証プライム市場・札証
証券コード8524

2023年7月6日

取締役頭取 安田 光春



地域とともに未来へはばたく

TSUBASA
ALLIANCE



目次

本日のテーマ

1. プロフィール

P.1～

2. 経営成績

P.5～

3. 経営戦略

P.10～

4. 配当政策・株価の状況

P.20～

(ご注意事項)

- 資料には北洋銀行グループの将来の業績、経営目標などに関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は経営環境の変化などにより、予想と異なる結果となる可能性があることにご留意ください。
- 北洋銀行以外の金融機関に関する情報は一般に公知の情報に依拠しております。
- 表示金額は特にことわりのない場合、表示金額未満を切り捨てております。

1. プロフィール



ほっくー

(1)これまでの歩み

沿革

大正6(1917)年8月

北海道無尽株式会社として創立

昭和26(1951)年 北洋相互銀行に商号変更

平成元(1989)年 普通銀行に転換、北洋銀行に商号変更

平成10(1998)年 北海道拓殖銀行より営業譲り受け

平成13(2001)年 札幌北洋ホールディングス設立

平成20(2008)年 札幌銀行と合併

平成24(2012)年 札幌北洋ホールディングスと合併

平成29(2017)年 創立100周年

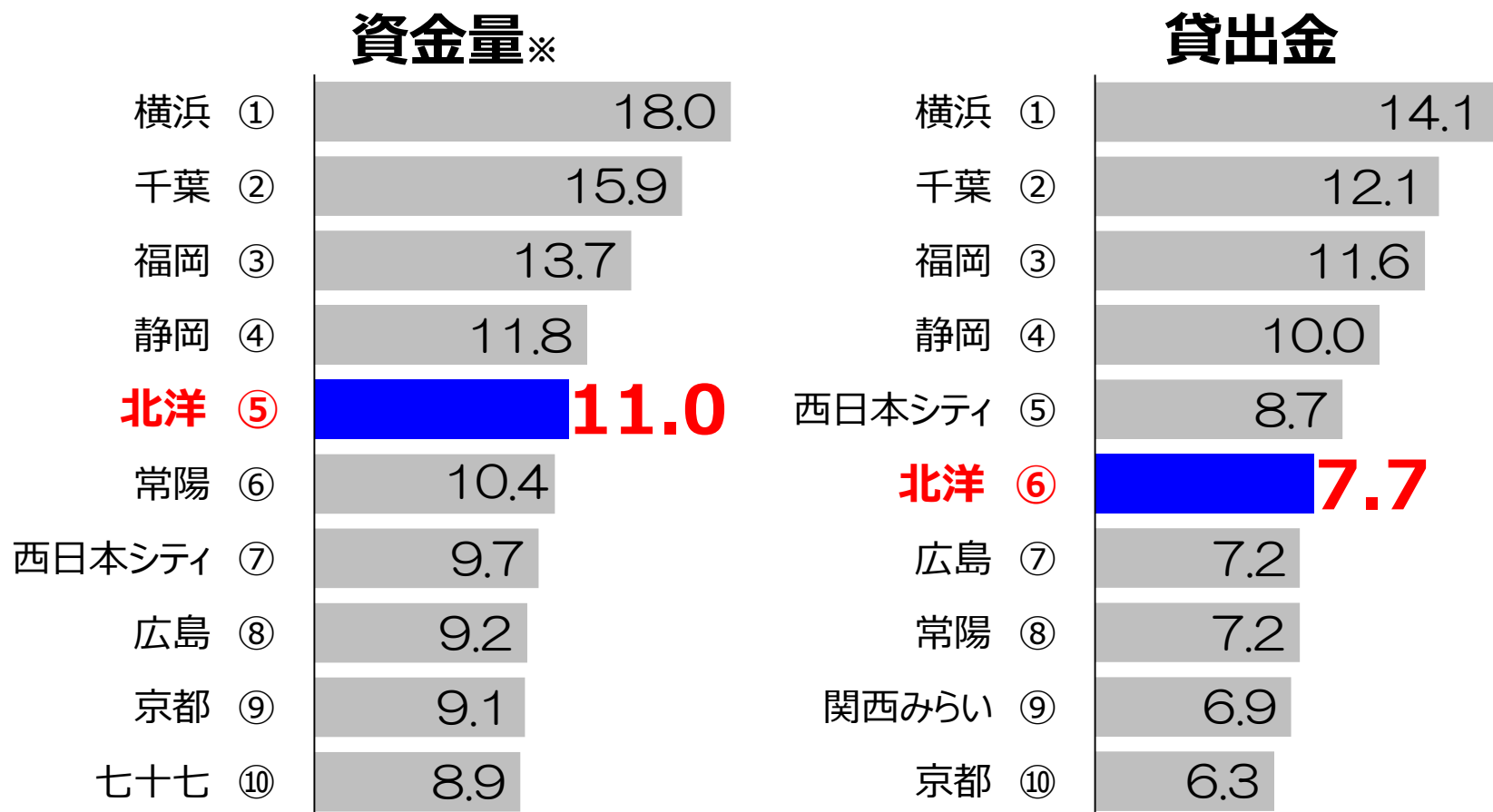
令和2(2020)年 新たな経営理念の策定

令和5(2023)年**現在** 未来志向の豊かな地域社会の実現に向けて

(2) 国内の位置付け

全国の地域銀行で5~6番目

2023年3月末現在（単位：兆円）



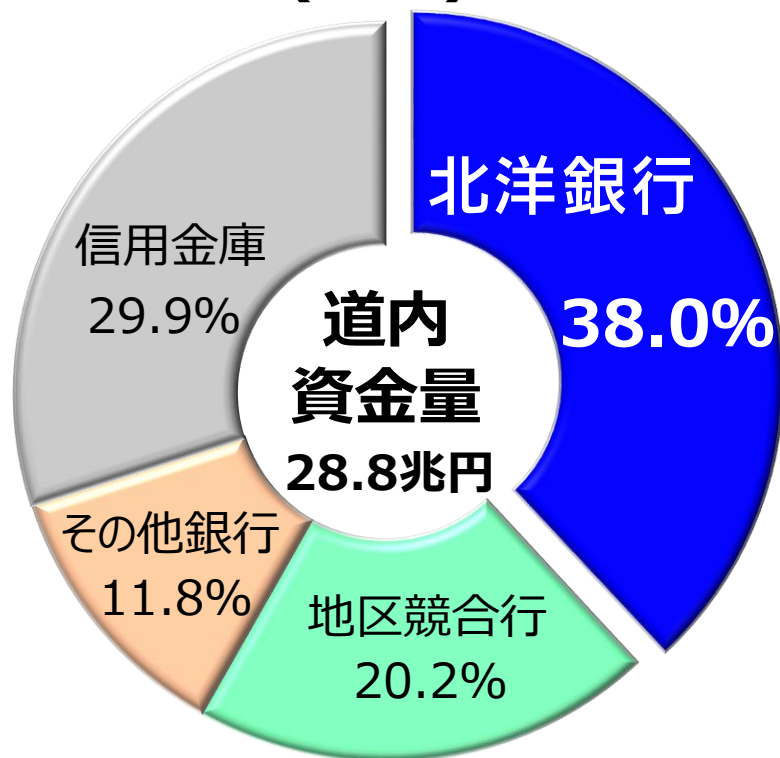
※資本金 = 預金 + 譲渡性預金

(出所) 各行決算資料

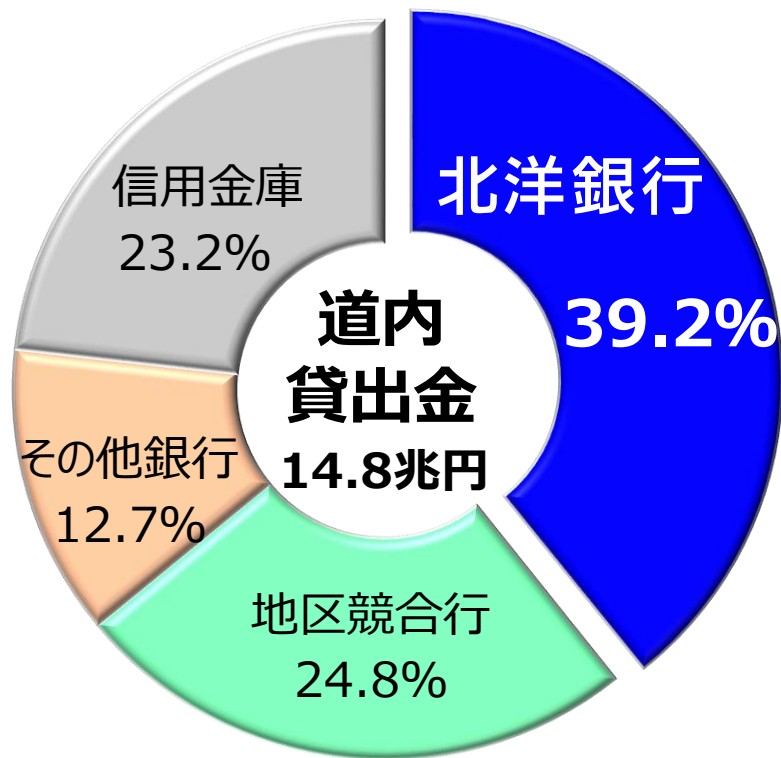
圧倒的な道内第1位のシェア

2023年3月末現在

資金(預金)量シェア



貸出金シェア



- ・道内に本支店のある国内銀行（ただし、ゆうちょ銀行、整理回収機構除く）および信金の残高に基づくシェア
- ・預金は譲渡性預金含む（道内信金の譲渡性預金については、全国の信金の譲渡性預金残高から推計）
- ・シェアについては切り捨てにより合計が100%になりません

(出所) 日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金 地域・中小企業研究所「全国信用金庫概況」、
「信金中金月報（3月データは現時点で未公表のため、2月データを使用）」、各行決算説明資料等により推計

(4) 北洋銀行の強み

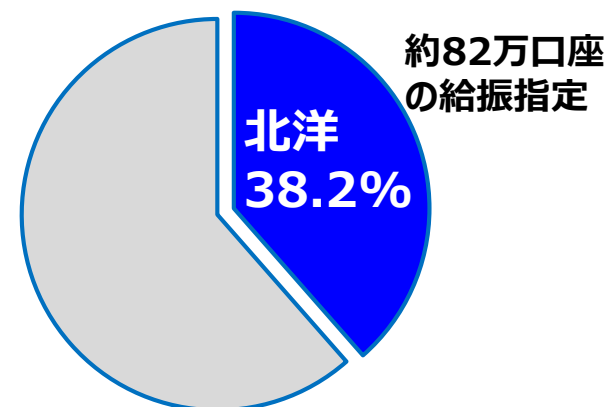
メインバンク取引社数 地銀No.1

【地域銀行ランキング】

順位	銀行名	社数
第1位	北洋	23,965
第2位	福岡	22,096
第3位	千葉	21,422
第4位	西日本シティ	20,777
第5位	第四北越	18,068
第6位	静岡	16,730
第7位	横浜	16,653
第8位	広島	16,076
第9位	常陽	15,602
第10位	中国	15,254

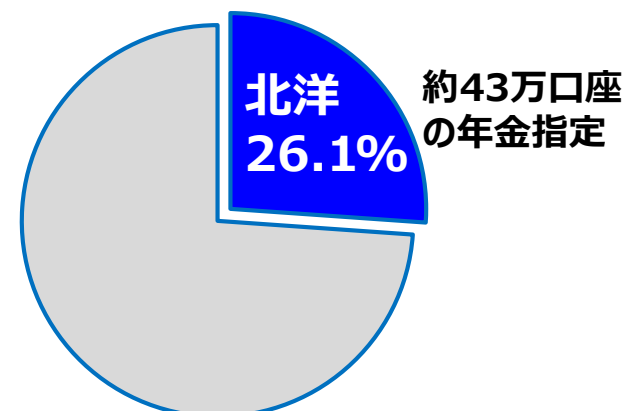
(出所) 帝国データバンク：全国メインバンク動向調査（2022年）

【道内給料振込みのシェア】



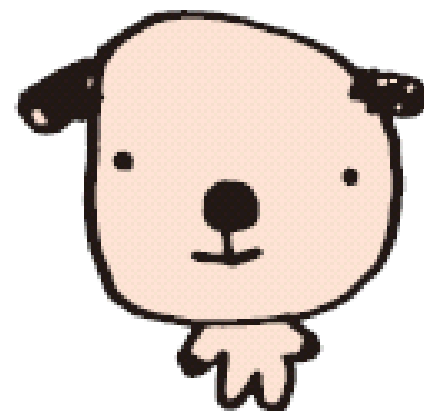
※令和3年経済センサスから道内従業者数より推定

【道内年金受給のシェア】

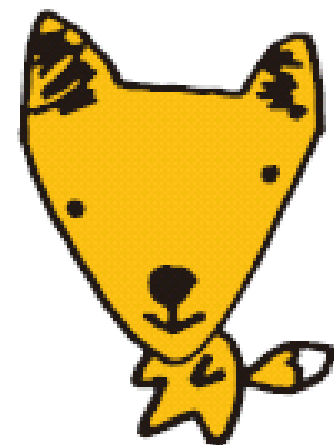


※令和4年住民基本台帳から道内65歳以上人口より推定

2. 経営成績



こわんた



きたこん

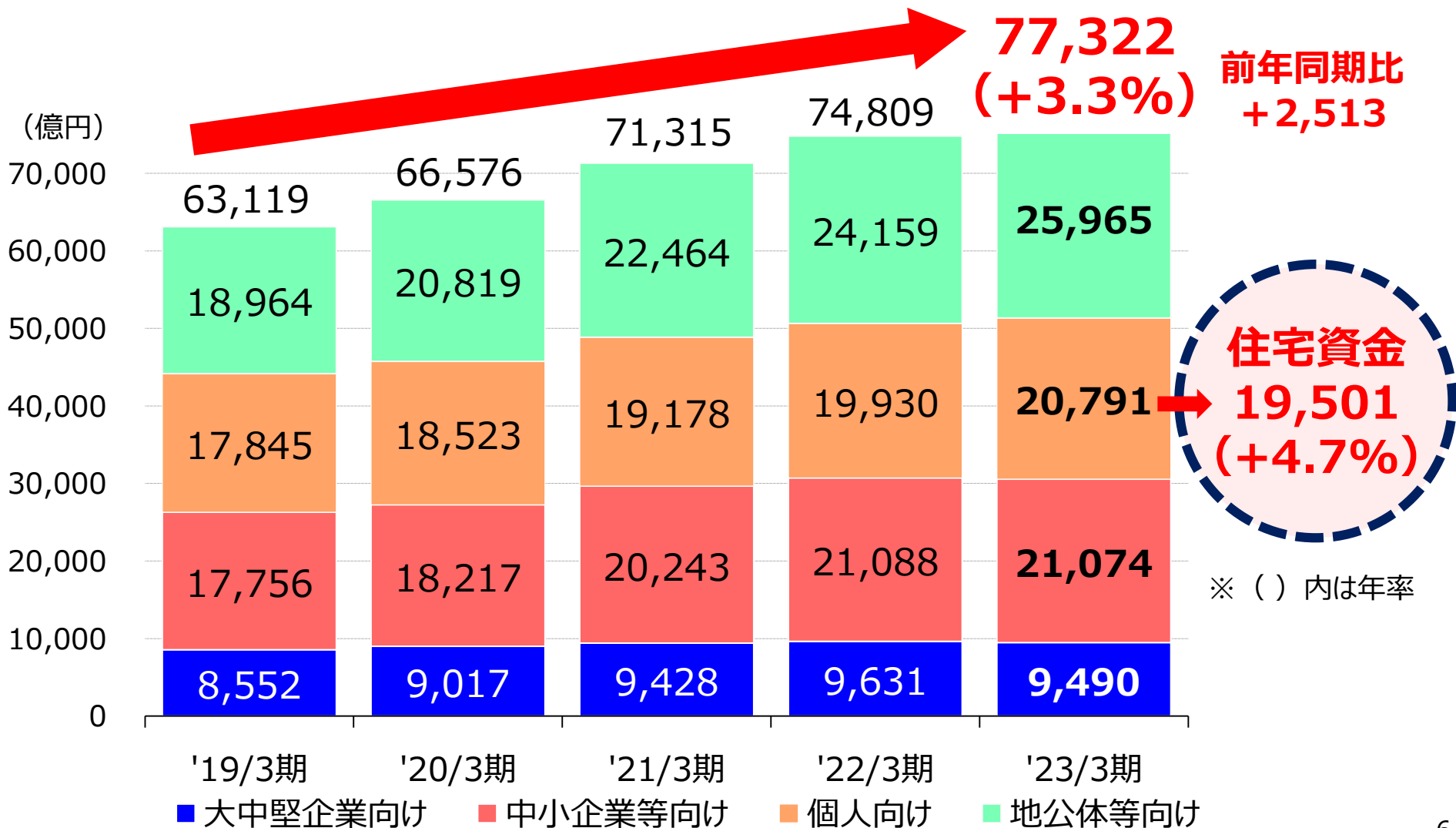
(1) 2023年3月期決算の概要 (単体)

システム共同化に伴う一過性費用の計上により減益も、次年度は増益を見込む

【単位：億円】	'22年3月期 実績	'23年3月期 実績	前年同期比	'24年3月期 見通し
① コア業務粗利益	835	826	▲8	809
② 貸出金利息	578	576	▲1	
③ 有価証券利息配当金	91	110	+19	
④ 役務取引等利益	121	113	▲7	
⑤ 経費	615	638	+22	647
⑥ コア業務純益 (①-⑤)	220	188	▲31	162
⑦ 信用コスト(▲)	32	48	+15	40
⑧ 有価証券等関係損益	▲29	24	+54	
⑨ 経常利益	178	178	▲0	159
⑩ 当期純利益	110	<u>105</u>	▲5	<u>110</u>

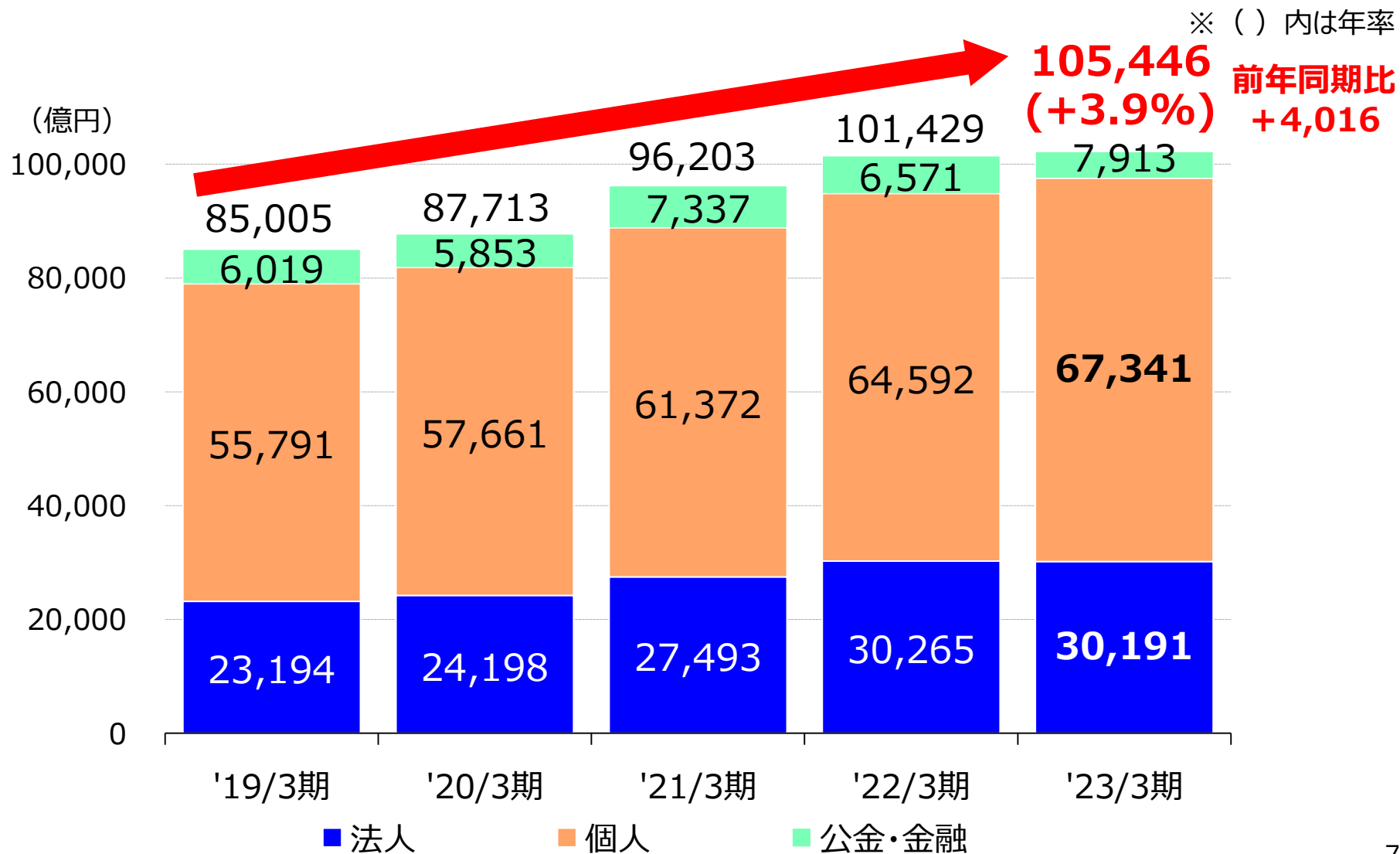
(2) 貸出金 (平均残高：単体) の状況

住宅資金が大きく伸長



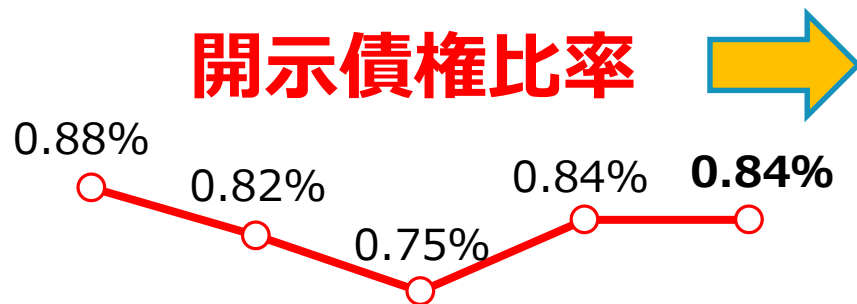
(3) 預金・NCD（平均残高：単体）の状況 ※ NCD=譲渡性預金

個人を中心として、増加が続く

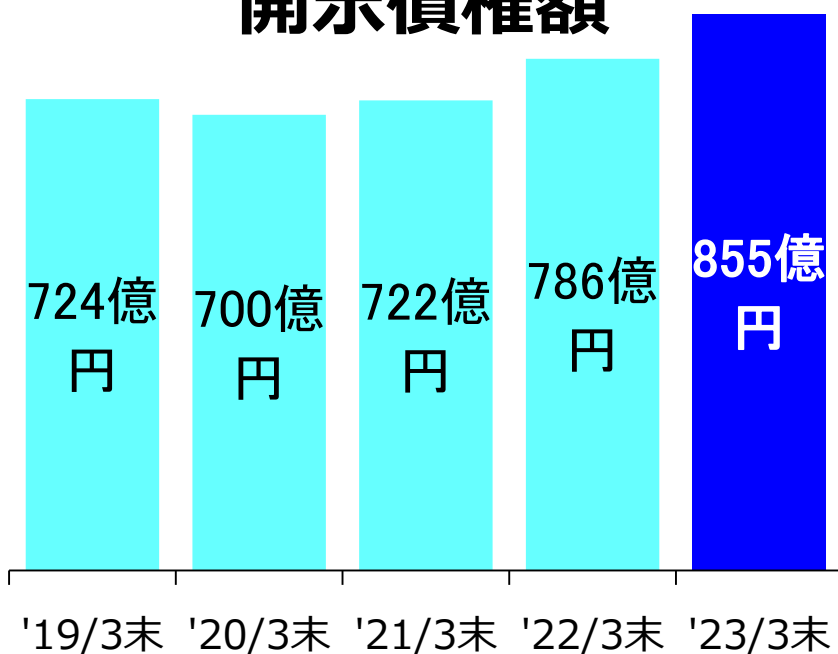


地域銀行の中でも極めて低い水準

開示債権比率



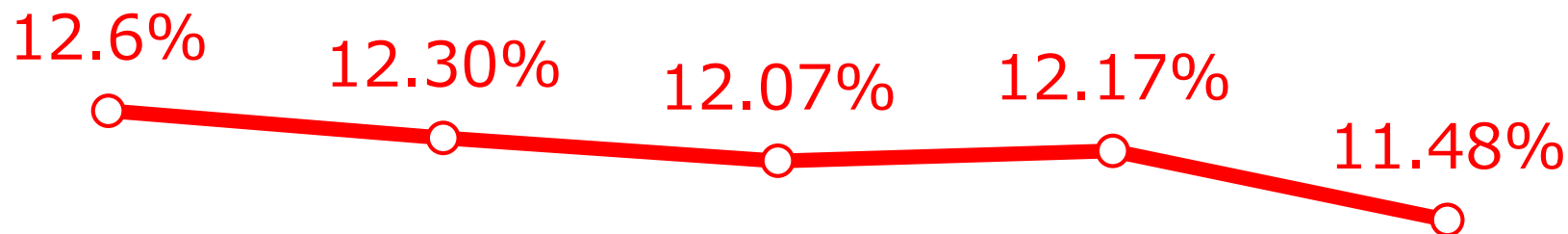
開示債権額



<地域銀行 貸出金上位10行>

順位	銀行名	不良債権比率
第1位	北洋	0.84%
第2位	千葉	0.93%
第3位	静岡	0.98%
第4位	広島	1.15%
第5位	横浜	1.20%
第6位	常陽	1.39%
第7位	京都	1.49%
第8位	福岡	1.59%
第9位	西日本シティ	1.60%
第10位	関西みらい	1.80%

高い財務の健全性を確保



地銀(単体)平均値 **10%程度**
(2023/3末)

2019/3末

2020/3末

2021/3末

2022/3末

2023/3末

3. 経営戦略



らびりん



まりりす

2023年4月 新中期経営計画をスタート

中期経営計画 『新たな成長へのチャレンジ』

～お客さま、地域と共に持続可能な成長を～

ギャップを埋める全体戦略

① 北海道とお客さまのサステナビリティ向上サポート

- ➡ 銀行・HKP※・北洋証券を柱とした法人・個人・地域社会のサステナビリティ向上支援と成長サポート
- ➡ コロナ禍で苦しんだ道内企業の経営改善・成長に向けたサポート

※ 北海道共創パートナーズ

② お客さまの成長を支える人財の育成

- ➡ 成長支援の視点を備えた営業店人財育成、高度な課題解決能力をもつHKP・北洋証券の専門人財拡充・育成 + 経営理念、行動規範を共有できる専門人財の中途採用

③ 店舗機能再構築・事務効率化による生産性の向上

- ➡ TSUBASAシステム共同化効果の追求、BIB・相談機能集約、軽量店舗化、DX投資活性化によるお客さまの利便性向上と当行の生産性向上

現状

道内経済低迷による
持続可能性への懸念

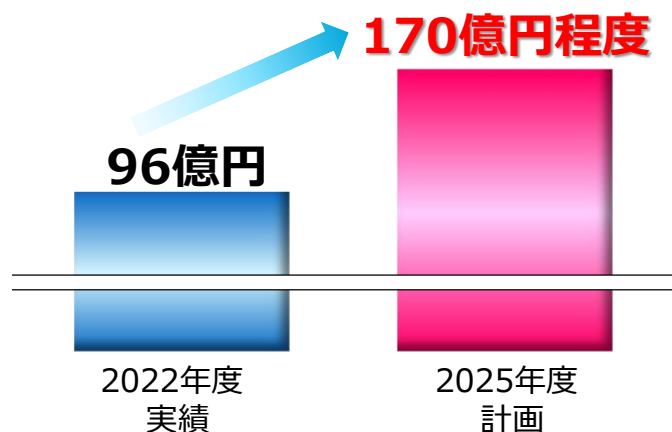
お客さまを取り巻く課題
の更なる多様化・高度化

店舗・対面が前提
の高コスト体質

(2) 基本戦略 < 中期経営計画における計数目標 >

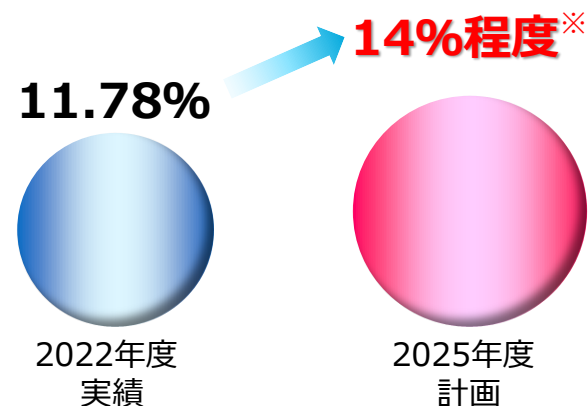
最終年度 連結当期純利益170億円を目指す

連結当期純利益

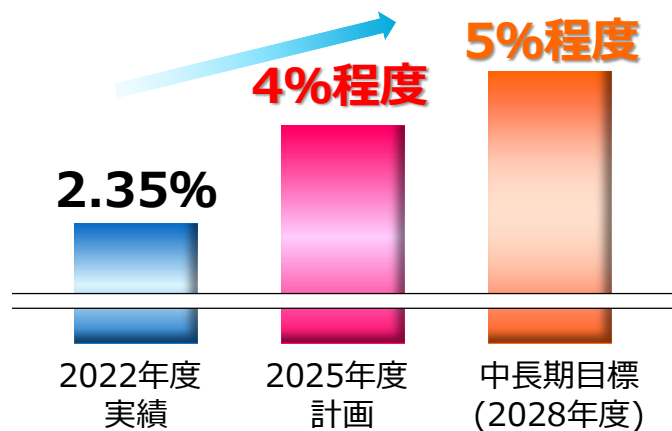


連結自己資本比率

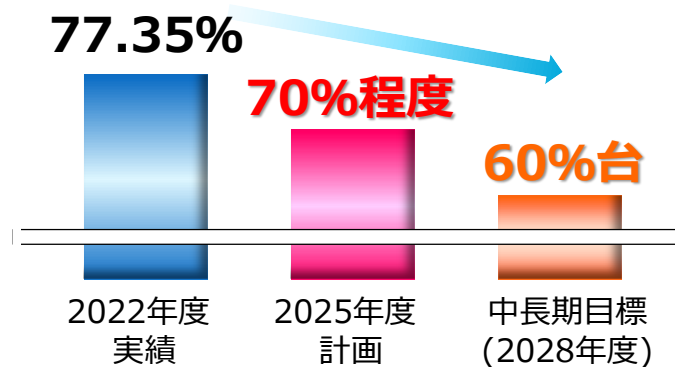
※ バゼルⅢ最終化（経過措置期間）ベース



連結ROE



連結コアOHR



北海道の持続可能な成長に向けて グループ一体で取り組む



北海道共創パートナーズ

経営コンサルティング

事業計画策定、財務基盤強化など

人材コンサルティング

人材紹介、人材育成支援など

M&Aコンサルティング

タイプ別のM&A実行を支援



個人・法人営業部門

お客さまの資産運用・管理をサポート

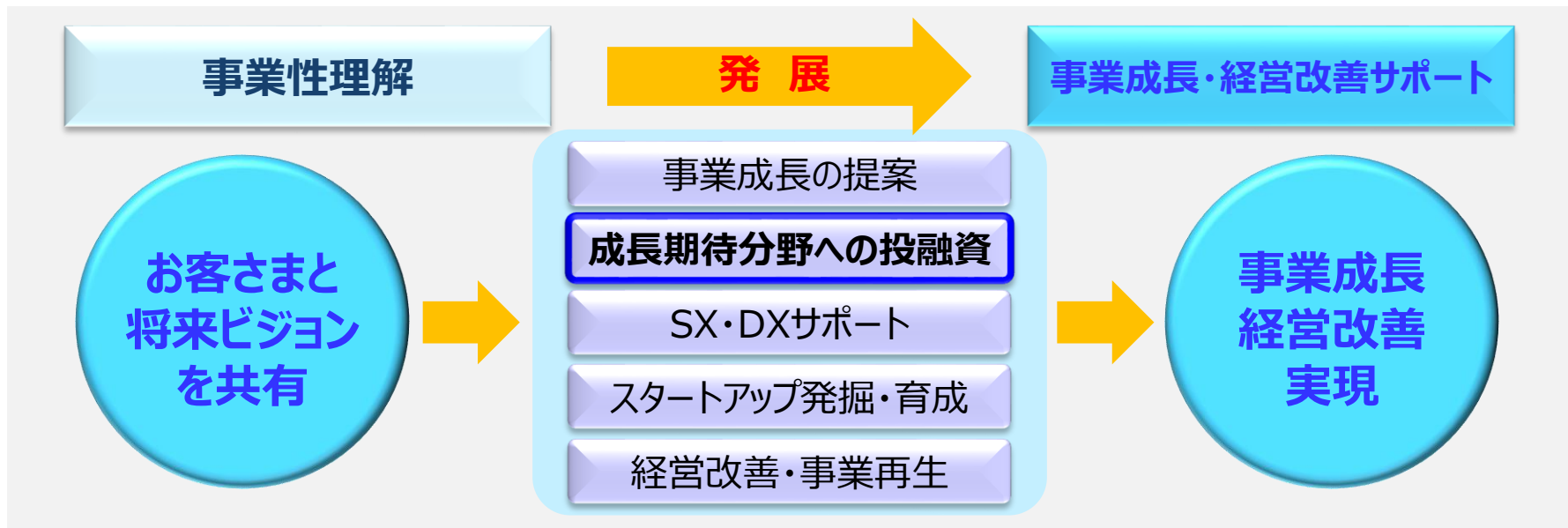
引受営業部門

社債・株式引受、新規公開サポート

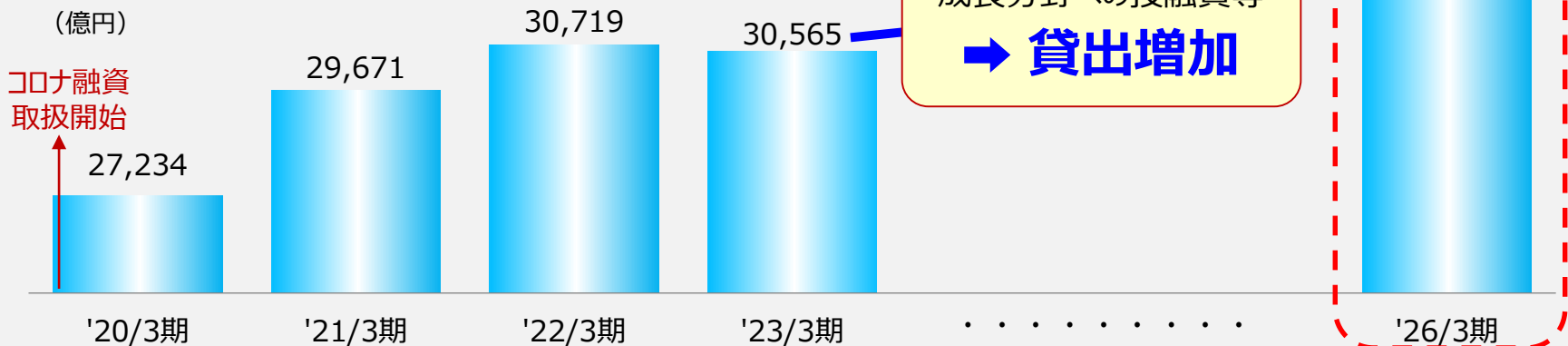
金融商品仲介部門

多様なニーズに最適な商品を提供

事業成長・経営改善サポートを推進

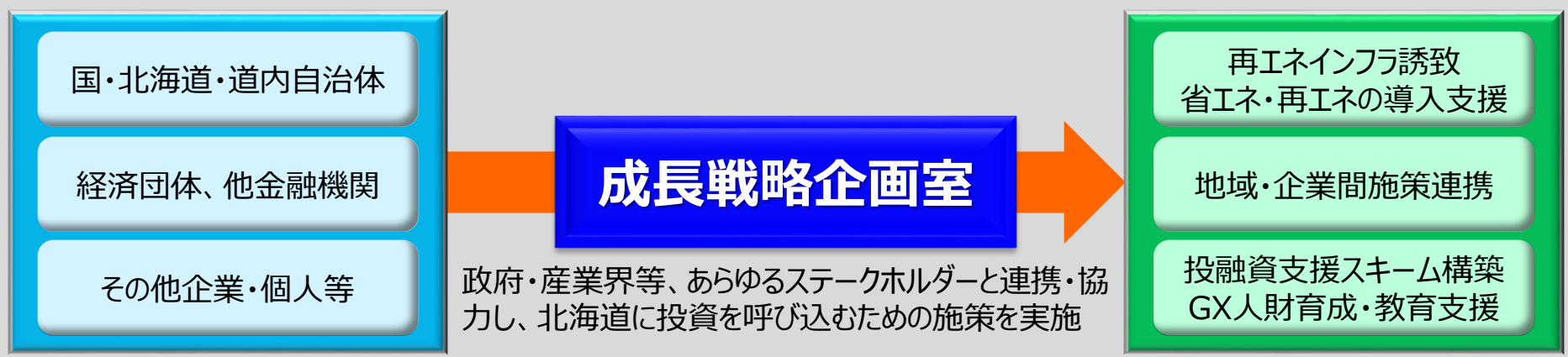


【法人貸出平均残高】



成長期待分野への投融資を全行的に推進

<2023年3月 当行初となる頭取直轄組織を新設>



成長戦略企画室を中心とした全行的な取組

■ 次世代半導体製造拠点に選定

■ 洋上風力等再エネの高いポテンシャル

■ 国際環境金融都市事業 (金融特区構想)

▶ ■ インフラ整備需要・周辺企業へのファイナンス
■ 従業員の確保・生活サポートなど

▶ ■ GX関連への取組み強化
→「Team Sapporo-Hokkaido※」に参画

※ GX投資を北海道に呼び込むため発足した国や道内外の21機関で構成する共同事業体

長期・分散・つみたてによる資産形成サポート

SNSを通じた啓蒙プロモーション・情報発信

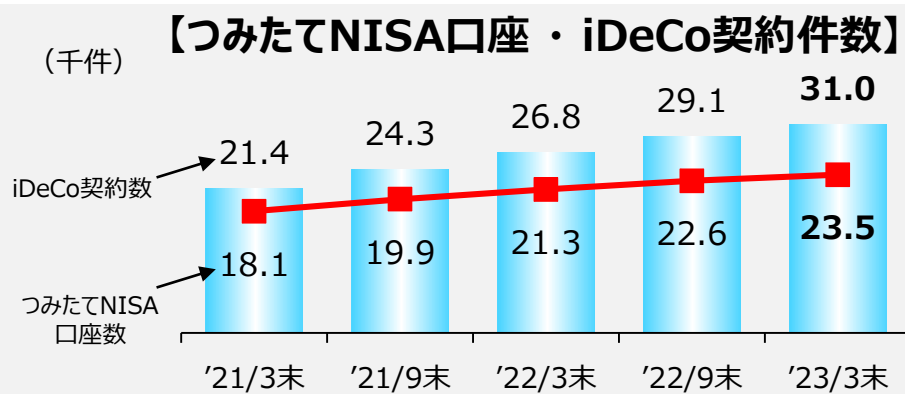
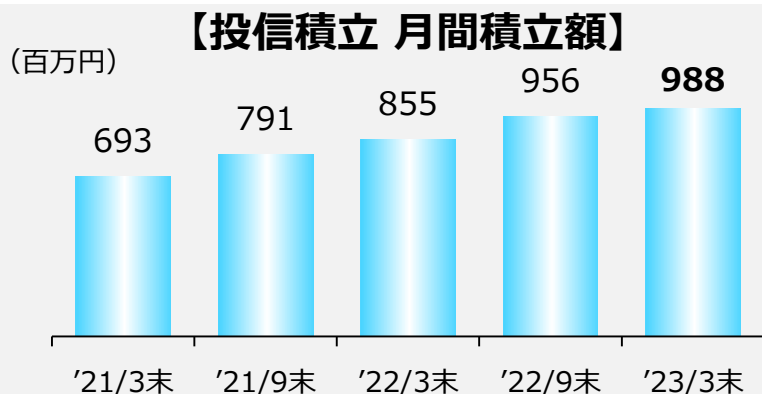


特設ブースの設置



スピードスケート高木菜那さん「つみたてNISA対談動画」 Instagram公式アカウント「つみたて女子のきんゆう講座 by北洋銀行」

若年層や資産形成層を中心に投信積立・NISA・iDeCoの提案に注力



環境・社会に配慮したローン商品を拡充

商品の拡充

New

住宅ローン「ほくようゼロカーボン応援プラン」

- ZEH※水準以上の省エネ住宅専用ローン（金利優遇）
- 新たに住宅を取得するお客さまの経済負担を軽減し、**環境に配慮した高い省エネ住宅の普及を後押しする**

住宅ローン「リノベーション一体型」

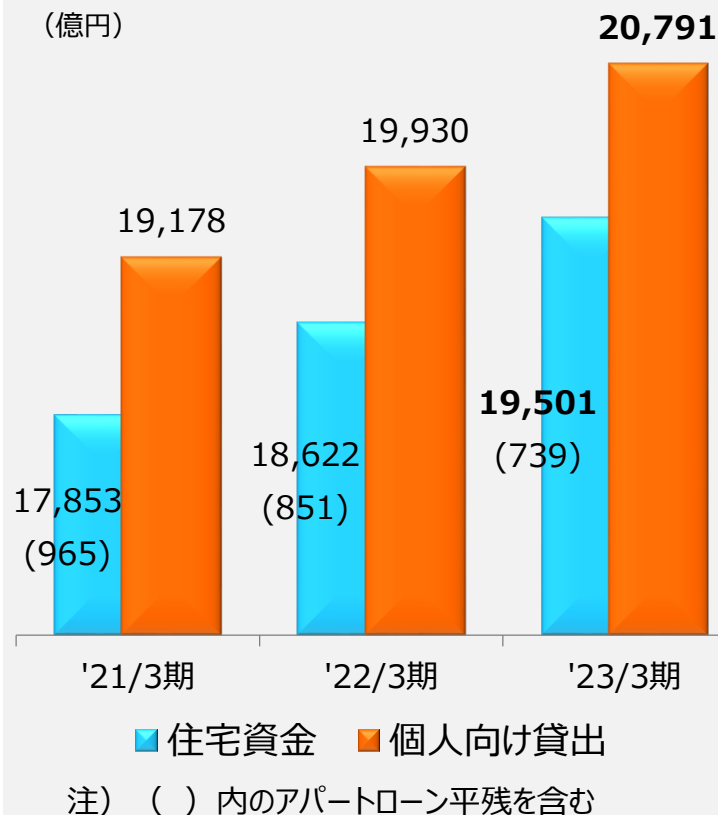
- **廃棄物が少なく環境保全の観点から需要が高まっているリノベーション住宅**に対応（金利優遇）

WEB完結型ローン「ゼロカーボン応援プラン」

- WEB完結型のマイローン・リフォームローンのうち、**脱炭素の取組に資する資金用途**に限定し、低利でご利用が可能

【個人向け貸出 平均残高】

(億円)



※ ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス。高断熱・高气密化、高効率設備によって使うエネルギーを減らしながら、太陽光発電などでエネルギーをつくり出し、年間で消費する住宅の正味エネルギー量がおおむねゼロ以下になる住宅

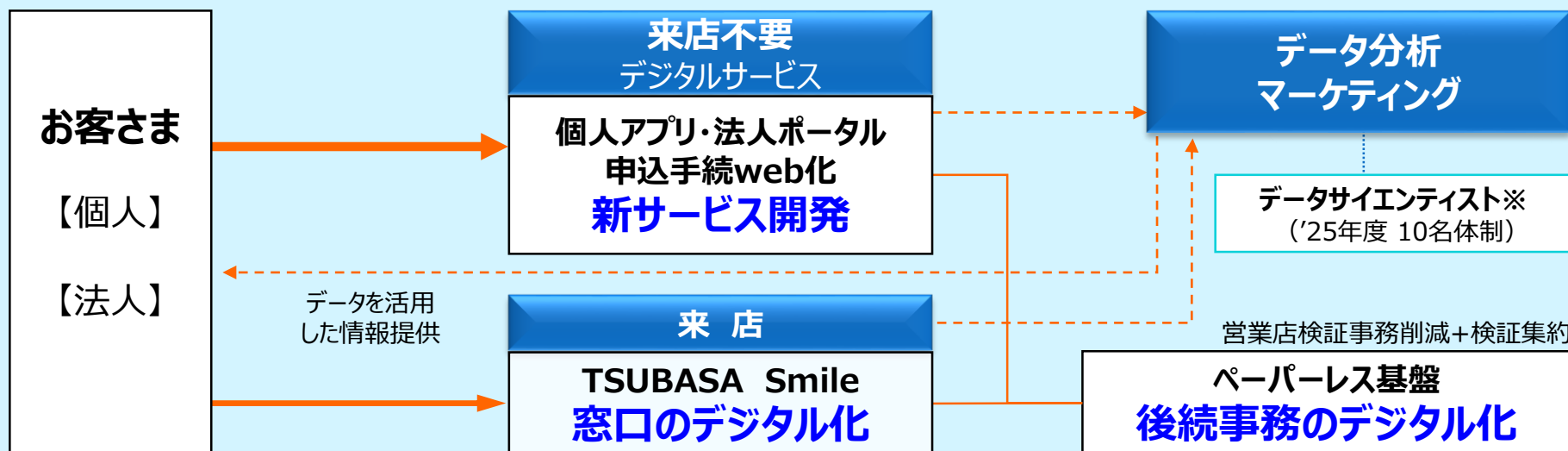
店頭窓口・非対面サービスと 後続事務のデジタル化を実現

2023年1月 TSUBASA基幹系システム共同化

システム共同化のメリットを最大限追求し、積極的に取り組んでいく

<店頭窓口/非対面サービスのデジタル化>

※ AIを活用しビッグデータから新たな知見を引き出す人財



持続可能な社会の実現に向けて

サステナビリティ方針

ESG取組方針

環境方針・社会貢献方針・ガバナンス方針

環境・社会に配慮した投融資 方針

2022年12月新たに制定

SDGsに係る重点取組テーマ

お客さまとの 共通価値の創造

- ・SDGsコンサルティング
- ・ほくようサステナブルローン
- ・SDGsファンド
- ・創業支援、事業承継
- ・食、観光分野支援など

環境保全

- ・TCFD提言賛同
- ・ほくくー基金

医療福祉

- ・SDGs(医療応援) 私募債
- ・道民医療講座
- ・団体献血
- ・骨髄バンク支援など

教育文化

- ・SDGs(教育)私募債
- ・SDGs(パラスポーツ応援) 私募債
- ・クラシックコンサート
- ・中学生作文コンクール
- ・ほくよう金融教室など

ダイバーシティ

- ・ワークライフバランス
- ・女性活躍支援
- ・健康経営 など



持続可能な社会の実現に向けて

環境保全

CO₂排出量削減への取組

- 改修工事による「ZEB Ready※¹」の認証を取得
 - 道内金融機関では初
 - 店舗のCO₂排出量は2013年度比47%削減



教育文化

金融経済教育への取組

- 「ほくよう金融教育」
 - 若年層の金融リテラシー向上に向けた活動
 - 2022年度対象数実績：延べ10,207人※²



※¹ ネット・ゼロ・エネルギー・ビル・レディ

※² 高校教員向けのセミナーやPTA向けのセミナーなどのセミナー ご参加いただいた教員が担当する生徒等を含む

4. 配当政策・ 株価の状況



もりほー



もぎゅ

総還元性向40%を目処とした配当政策

**総還元性向
⇒40%を目処**

$$= \frac{\text{年間配当金の総額} + \text{自社株買取額}}{\text{連結純利益※}}$$

連結純利益※の約**40%**を
配当金と自社株買いに
あて、株主の皆さまへ総合的
な利益還元を実施

普通配当金
年間 **10** 円/株

**業績連動
配当金**

連結純利益※
150億円を超える
部分の30%を目
処に還元

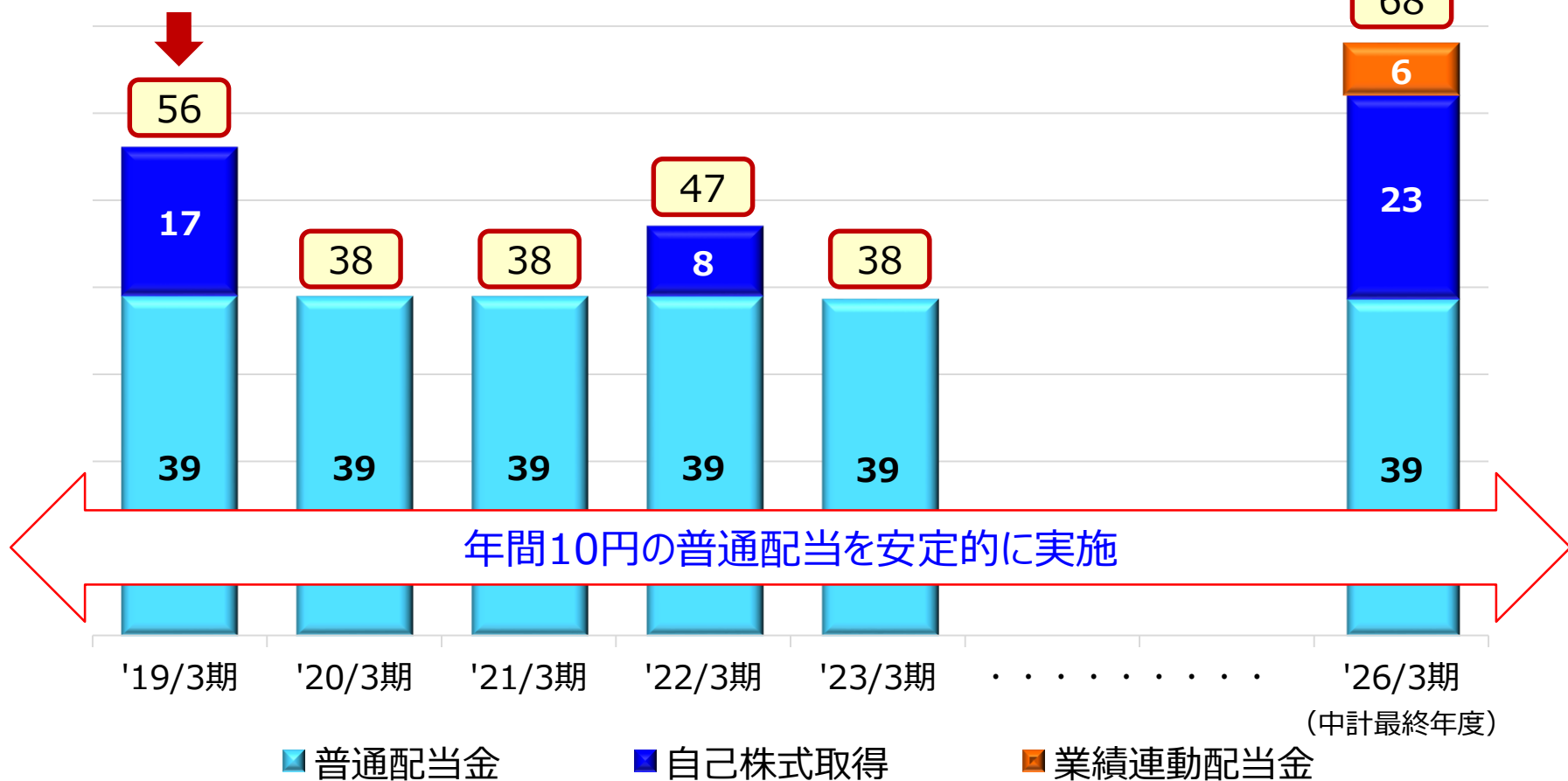
(2) 配当金の推移

安定的な配当を継続

【配当実績および配当予想】

(億円)

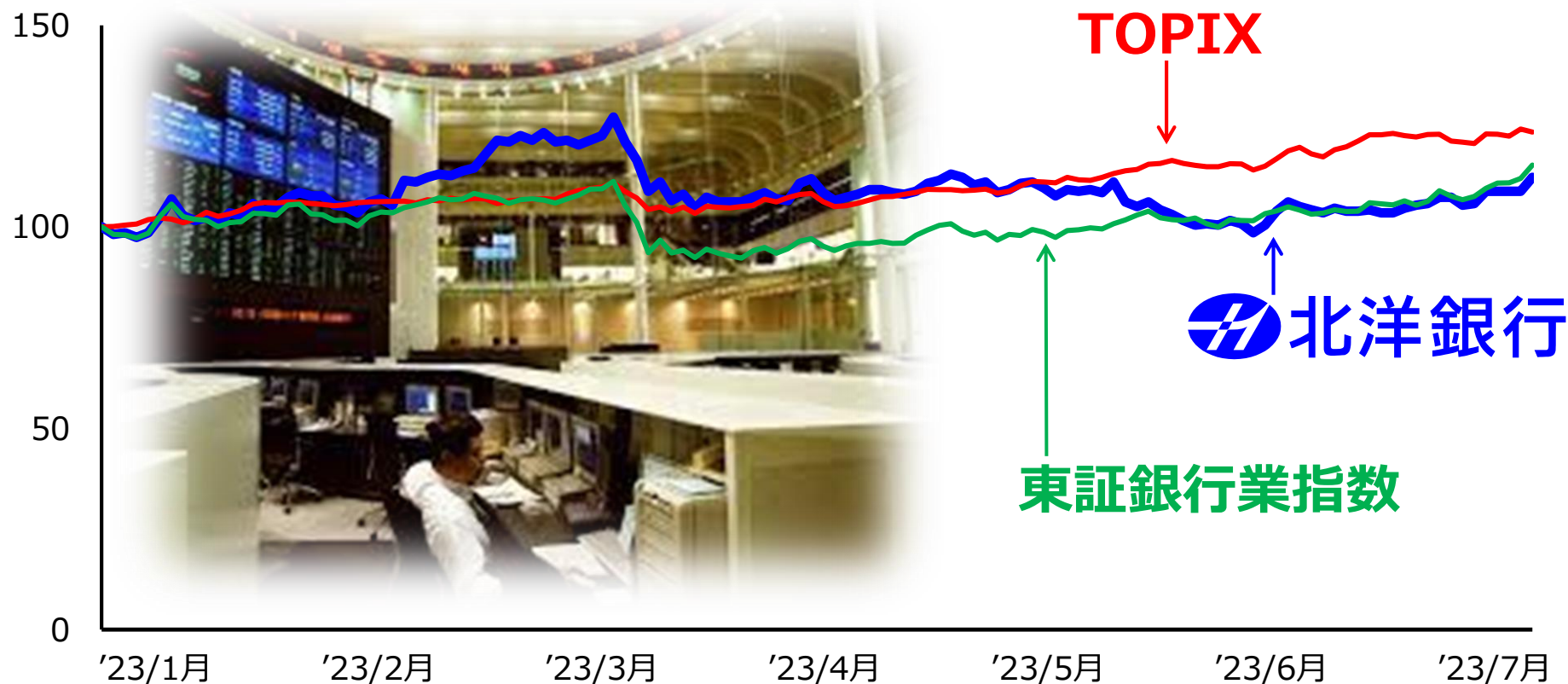
配当金総額



(3) 株価の動向

東証銀行業指数と同様の推移も 市場全体対比では伸び悩む

株価の推移 (2023年1月 = 100)



(4) 企業価値の向上に向けて

計画を着実に実行し、情報面を充実化

東京証券取引所

※ ROE (Return On Equity : 自己資本利益率) = 当期純利益 ÷ 自己資本

現 状 プライム市場の約半数の上場企業が、ROE[※] 8%未満、PBR1倍割れ

資本収益性や成長性に課題

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応を要請

北洋銀行グループは下記を実践し、持続的な成長・中長期的な企業価値の向上に努めます

中期経営計画の着実な実行

- 収益力を高め、生産性を向上
- 資本効率の向上

投資家との対話・積極的な情報開示

- 情報の透明性を高める
- 非財務情報を含めた情報量の充実